

# 県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

|                |                          |      |                        |
|----------------|--------------------------|------|------------------------|
| 大会名            | 都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2019 | 開催地  | 東京都 埼玉県 千葉県 神奈川県       |
| 報告者名<br>(所属連盟) | 若林謙作 神門康治 (中体連)          | 派遣期間 | 平成31年3月28日(木) ~ 30日(土) |

|              |  |
|--------------|--|
| 参加者<br>(敬称略) | <b>委員長</b> 宇田川貴生<br><b>副委員長</b> 平原勇次 北島寛臣 三次啓太 大庭英裕 蒲健一 草野伸明 加藤暁生 東條輝正<br><b>委員</b> 城住範 市橋祐介 妹尾亜沙美 酒井和彦 藤代透 高下耕平 三輪至 岩本雅裕 原添さやか 杉浦元一 上村一弘<br>檜谷功夫 若林哲 長谷川隆司 林原潤 庄司周平 出嶋佑太 加藤祭 武藤力 津田圭太 大津孝雄 清水宏司<br><b>審判員</b> 阿部聖 平出剛 星野由貴 安西郷史 長谷川裕 茂泉圭治 漆間大吾 久保裕紀 和嶋陽一 山内正隆 福岡敏徳<br>御手洗亮 工藤由佳 中村浩仁 阿部敬太 高平吉康 佐藤良明 武田亜沙美 森田淳 坂美佑紀 中山克則<br>若林謙作 神門康治 穂川苑子 山岸大輔 大井陽平 伊東洋揮 佐々木琴美 成田幸子 吉田一貴<br>古屋勝司 三沢奈央 伊東純希 加藤健太 三崎浩介 鈴木誠 阿部暢史 山田隆介 篠岡虹志 梅田香<br>野々村日希 横井泰人 境圭介 折戸雄 加藤加織 木村依美里 石川淳也 兼子将 藏田智 中村匠吾<br>高嶋憲彰 大下俊之 石川貴基 宮崎拓 松本成生 若山輝紀 藤田公介 二宮光司 佐竹俊春 野田明男<br>秀島充彦 一瀬諒 岩尾圭治 千原翔太 本部和史 川井剛 比嘉涼太 伊藤裕一 九里亜紀 新井佳樹<br>伊藤美里 内田敦子 小原宏太 數野竜平 小泉登 児玉寛宣 小林恵 駒村匡昭 小森葉子 坂本秀樹<br>佐藤良太 杉田和香枝 竜田雅史 箱石拓也 矢島拓朗 大川尚 久保あしみ 佐藤麻衣子 円谷怜美<br>新生寛侑 飯坂淳 岩瀬光義 江島由晃 榎本武人 小林一哉 鈴木俊之 永瀬太志 野口祐子 菱沼大気<br>萬野宏樹 山縣卓 山口和也 横山崇斗 渡邊拓人 大澤尚樹 中澤美保子 廣瀬俊昭 村上恵美 飯田達弥<br>奥原佑典 加賀屋幸佑 岸本文 栗田賢吾 杉本恭平 中野哲哉 橋本英樹 平田憲司 平野雄大 南出大輔<br>萬木宏次朗 遠藤大輔 鈴木寿之 長尾繁徳 濱雄介 本間さとみ 松浦咲 三好英美 向井和宏 望月直幸<br>山口亮彰 吉宇田和泉 新井文明 有留早紀 五十嵐菜美 伊佐牧子 石川恵一 稲田翔人 神谷郁代<br>小島彩乃 齋田愛美 佐々木春花 関谷洋平 高橋信幸 高橋雄一 寺門一馬 豊島浩章 中田新 松村晃<br>中村健太郎 丹羽法明 橋本昌樹 馬場圭佑 一杉あきの 古見高広 星野和治 堀田祥世 山村洋史 |
|--------------|--|

## 【審判会議内容】

### <インテグリティーについて> 講師:宇田川貴生氏

- ・バスケットボールファミリーでバスケットボールの価値を高めるために…。
- ・今後、各都道府県で規律委員会が設置される予定。
- ・失敗から → 反省し → 次につなげていく
- ・人間力を高めることは審判技術向上にも繋がっていく。
- ・コート外では*clean basketball*、コート内では*clean the game*。

### ※ガイドラインの説明

- ・TF(テクニカルファール)はNF(ノーマルファール) / UF(アンスポーツマンライクファール)と同じもの。
- ・TFは触れ合いと同じ基準で、振る舞いについても同じように判定する。
- ・我々審判員は、競技規則とガイドラインに沿って、厳々と判定していただく!

### <3POレクチャー> 講師:漆間大吾氏

- ・進化を止めない…メカニクス、用語など常に進化し続けている。新しいものを吸収し続ける。
- ・脳のリフレッシュ(アクティブマインドセット)  
←試合中に混乱することがある(自分も、パートナーも)。そんな時に活用してみる。
- ・四原則(Four Principles) ⇒ IOT
  - ①オールウェイズムービング: ステーションリ&ディスタンス
  - ②スペースウォッチング: レフリーディフェンス
  - ③ペネトレイト: ステイウィズザプレイ
  - ④ボクシングイン: アプリリーイン2PO(3PO)

- ・*Don't break it*
    - ・ルール
    - ・インタープリテーション
    - ・ガイドライン
    - ・メカニクス
- オリジナルは大切だが、勝手な解釈は良くない。

※これらは全国共通のもの(Basic)、同じ共通認識のもと、仲間(パートナー、クルー)を信頼する。  
→でもトラブルは必ず起こってしまう。その時はクルーチーフメンタリティーでその流れを止める。  
(1)メカニクス (2)データ情報 (3)戦術・ルールの理解 (4)コート上でのプレゼン

※これら全てがそろった上で、Good game Good refereeになる。

◎バスケットボールの審判に求められるもの ①強さ ←横柄ではない ②難しい判定(決断力) ③親しみやすさ

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日:平成 31年 3月 28日

|  |       |      |        |    |       |
|--|-------|------|--------|----|-------|
| 審判員名                                       | 若林 謙作 | 相手審判 | U 一瀬 諒 | 所属 | 長崎県   |
| カード  | 和歌山   | 対    | 山口     |    | 男子予選L |
| ◇ ミーティングの内容                                |       |      |        |    |       |
| ・トレイルから判定されたケースがあった。                       |       |      |        |    |       |
| ・アングルを持っているからOKではあるが、その時のリードは工夫が必要。        |       |      |        |    |       |
| ・外側にクロスステップするか、内側にクローズダウンするかプレイへの積極的な関わり方。 |       |      |        |    |       |
| 《審判主任》加藤 祭(神奈川)                            |       |      |        |    |       |

割当日:平成 31年 3月 29日

|  |       |      |                     |    |              |
|--|-------|------|---------------------|----|--------------|
| 審判員名   | 若林 謙作 | 相手審判 | U1 千原 翔太<br>U2 若林 哲 | 所属 | 大分県<br>埼玉県   |
| カード  | 東京A   | 対    | 三重                  |    | 男子決勝T<br>1回戦 |
| ◇ ミーティングの内容                                  |       |      |                     |    |              |
| ・インサイドでの争いを決断力をもって判定。                        |       |      |                     |    |              |
| ・プライマリーのレフリーが判定できると説得力が増す。                   |       |      |                     |    |              |
| ・試合終了間際の難しいケース(UFにすべきケース)については、クルーで集まると良かった。 |       |      |                     |    |              |
| 《審判主任》草野 伸明(東京)                              |       |      |                     |    |              |

割当日:平成 31年 3月 30日

|   |       |      |                      |    |              |
|---|-------|------|----------------------|----|--------------|
| 審判員名  | 若林 謙作 | 相手審判 | U1 穂川 苑子<br>U2 坂 美佑紀 | 所属 | 群馬県<br>茨城県   |
| カード   | 京都    | 対    | 大阪                   |    | 女子決勝T<br>準決勝 |
| ◇ ミーティングの内容                                   |       |      |                      |    |              |
| ・全体的に大きなアクシデントもなく、協力してできていた。                  |       |      |                      |    |              |
| ・ショットクロックへの対応も良かった。微妙なケースもあったので、強さが必要な場面であった。 |       |      |                      |    |              |
| ・セカンダリーなのにジャストのタイミングでなることがあった。プライマリーの意識を強く持つ。 |       |      |                      |    |              |
| ・2人でコールした場合のレポートについても、プライマリーが持っていくようにする。      |       |      |                      |    |              |
| 《審判主任》御手洗 亮(大分)                               |       |      |                      |    |              |

## 【感想・県内審判員へ伝達したいこと】

今大会は32回続いた長い歴史に終止符を打つ大会となりました。従来大会とは違い、中体連以外の審判員も多く参加し、刺激を受けることも多々ありました。その中で3試合の割当てを頂き、全ての割当てでCC(クルーチーフ)という初めての経験をしました。PGCから試合終了のホイッスルまで、この上ない緊張感をもって臨みました。自分の役割の重大さとクルーへの信頼感を意識し、無事に試合を終えられた時の安堵感は、今後の審判活動への動機づけとなると感じました。最後に、派遣に際しましてご配慮頂きました渡邊審判長をはじめ県内審判員、開催都県審判員、大会役員に重ねて感謝致します。ありがとうございました。

# 県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日:平成31年3月28日

|  |       |      |           |        |
|--|-------|------|-----------|--------|
| 審判員名   | 神門 康治 | 相手審判 | (主) 中野 哲哉 | 所属 神奈川 |
| カード  | 兵庫県   | 対    | 愛媛県       |        |
| ◇ ミーティングの内容  |       |      |           |        |
| ○第一ピリオドの入りの部分から二人で協力して悪い手であったり体の寄せについて判定が入り<br>すっきりとしたゲームの入りにすることができた。       |       |      |           |        |
| ○外郭からのシュートで3点か2点か微妙なケースについても相手レフリーが伝えながらやるなど<br>協力しながらゲームを進めることができた。         |       |      |           |        |
| ○リードの位置取りで、セットアップポジション、クローズダウンの動きをもっと増やして取り組むことで<br>より良いアングルで最終的に判定できるようになる。 |       |      |           |        |
| 《審判主任》阿部 敬太(岩手県)   |       |      |           |        |

割当日:平成31年3月28日

|  |       |      |           |        |
|--|-------|------|-----------|--------|
| 審判員名   | 神門 康治 | 相手審判 | (主) 成田 幸子 | 所属 神奈川 |
| カード  | 鳥取県   | 対    | 福井県       |        |
| ◇ ミーティングの内容  |       |      |           |        |
| ○二人の審判員で協力して落ち着いてゲームを運営することができた。   |       |      |           |        |
| ○ファウルと判定したものの中でマージナルな接触として捉えられる部分もあったので、プレーの予測<br>をもっと行い、より良いアングルで捉えられるようにするとおおい。また、プレーの始まりと終わりまで<br>長く捉え続けることができ、より良い判定につながる。 |       |      |           |        |
| ○接触が小さな現象でも、ディフェンスが負けている位置から接触しているケースなどについて<br>もう少し、選手、コーチに伝える意味でも判定を下してもよかった場面があった。   |       |      |           |        |
| 《審判主任》中澤 美保子(神奈川県)   |       |      |           |        |

割当日:平成31年3月29日

|  |       |      |                        |              |
|--|-------|------|------------------------|--------------|
| 審判員名   | 神門 康治 | 相手審判 | (主・副) CC工藤由佳<br>U2三沢奈央 | 所属 北海道<br>山梨 |
| カード  | 大阪    | 対    | 東京A                    |              |
| ◇ ミーティングの内容  |       |      |                        |              |
| ○3POのメカの部分で最初はリードのスイッチサイドがノッキングをしてしまうなど少し消極的であったが<br>時間とともに積極性がそれぞれが表れ、スムーズなローテーションに結びついた。 |       |      |                        |              |
| ○センターで反対側のボールの方を意識し過ぎるあまり、少し前傾姿勢のようになってしまい、<br>ローテーションが遅れたりしてしまう場面があった。                    |       |      |                        |              |
| ○1番遠いところにいる場合でも、1番よいアングルがとれていて、早すぎず良いタイミングで判定が<br>入り選手もコーチも納得していた。                         |       |      |                        |              |
| 《審判主任》野々村 日希(岐阜県)  |       |      |                        |              |

**【感想・県内審判員へ伝えたいこと】**  
 ジュニアオールスターもこの形で行われるのは最後ということで転換を迎える大会となりました。またインテグリティ委員会  
 で「誠実さ、真摯さ、高潔さ」が掲げられ今大会が行われました。  
 初日は2PO、二日目から3POということで今回は両方経験することができました。研修会でも漆間氏からお話があった  
 ように「進化を止めない」ということがとても大切であることが再確認することができました。

最後に今回の派遣に際しましてご尽力いただきました、渡邊整ブロック長、渡邊諭栃木県審判長をはじめ県内審判員の方  
 々、お世話になった他県の審判員の皆様、大会関係者各位に感謝申し上げます。